



2024年4月1日
日本銀行札幌支店

北海道金融経済概況

2024年3月

<本件に関するお問い合わせ先>
日本銀行札幌支店 営業課（電話011-241-5232）
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/sapporo/>

<当店ホームページ>



全体感

北海道の景気は、持ち直している。

すなわち、公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。観光は、回復している。設備投資は、持ち直している。輸出は、下げ止まりつつある。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

項目別判断の前回との比較

| | | 前回 | 今回 | 変化 |
|-------|------|--------------------------|--------------------------|----------|
| 総括判断 | | 持ち直している。 | 持ち直している。 | → |
| 需要項目 | 公共投資 | 高水準で推移している。 | 高水準で推移している。 | → |
| | 輸出 | 弱めの動きがみられる。 | <u>下げ止まりつつある。</u> | <u>↗</u> |
| | 設備投資 | 緩やかに持ち直している。 | <u>持ち直している。</u> | <u>↗</u> |
| | 個人消費 | 物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。 | 物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。 | → |
| | 住宅投資 | 減少している。 | 減少している。 | → |
| 生産 | | 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。 | 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。 | → |
| 雇用・所得 | | 緩やかに改善している。 | 緩やかに改善している。 | → |

総括判断の推移

| | 公表日 | 前回比 | 総括判断 |
|----------|--------|-----|---|
| 2022年 2月 | 2/24日 | ↘ | 新型コロナウイルス感染症の影響から下押し圧力が強まっており、持ち直しの動きが一服している |
| 3月 | 4/1日 | → | 新型コロナウイルス感染症の影響から下押し圧力が強い状態にあり、持ち直しの動きが一服している |
| 4月 | 4/22日 | → | 同上 |
| 5月 | 5/27日 | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している |
| 6月 | 7/1日 | → | 同上 |
| 7月 | 7/29日 | → | 緩やかに持ち直している |
| 8月 | 会見なし | (→) | (同上) |
| 9月 | 10/3日 | → | 同上 |
| 10月 | 10/24日 | → | 同上 |
| 11月 | 11/25日 | → | 同上 |
| 12月 | 12/14日 | → | 同上 |
| 2023年 1月 | 1/30日 | → | 同上 |
| 2月 | 2/24日 | → | 同上 |
| 3月 | 4/3日 | → | 同上 |
| 4月 | 5/15日 | → | 同上 |
| 5月 | 6/9日 | → | 同上 |
| 6月 | 7/3日 | → | 同上 |
| 7月 | 7/24日 | → | 同上 |
| 8月 | 会見なし | (→) | (同上) |
| 9月 | 9/25日 | ↗ | 持ち直している |
| 10月 | 10/24日 | → | 同上 |
| 11月 | 11/22日 | → | 同上 |
| 12月 | 12/13日 | → | 同上 |
| 2024年 1月 | 1/26日 | → | 同上 |
| 2月 | 2/28日 | → | 同上 |
| 3月 | 4/1日 | → | 同上 |

各論

1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

公共工事請負金額は、前年を上回った。

輸出は、下げ止まりつつある。

食料品は、下げ止まりつつある。

設備投資は、持ち直している。

3月短観（北海道地区）における2023年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。2024年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、着実に増加している。

百貨店は、回復している。スーパーは、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。コンビニエンスストアは、増勢が鈍化している。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、緩やかに持ち直している。乗用車販売は、弱含んでいる。サービス消費は、回復している。

観光は、回復している。

住宅投資は、減少している。

新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲は、減少している。貸家は、緩やかに持ち直している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

主要業種別にみると、食料品、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。輸送機械は、弱めの動きがみられる。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率は前月比拡大した。

5. 企業倒産

企業倒産は、増加している。

6. 金融情勢

預金残高は、個人預金を中心に増加している。

貸出残高は、高水準で推移しているものの、減少に転じている。

貸出金利は、下げ止まっている。